

(8) 泣き止まない・元気がない・不機嫌

「泣きやまない」「元気がない」はともに”不機嫌”と表現されることがありますが、この2つは考慮する状況が多少異なります。しかし、どちらも、病気でなくてもある程度はあり得る症状なので、医療機関を受診すべきかどうか迷われることも多いかもしれません。このような場合、ほかに症状はないか、その症状からこの不機嫌を説明できそうか、などを考えてみるのが参考になるでしょう。

「泣きやまない」が病気からきている場合、それは痛みからきていることが多いと思います。したがって痛みを起こす原因に思い当たるものはないか、それは緊急を要するものなのか、を考えてみることになります。「元気がない」のはいろんな病気に伴って起こってきますので、年長児で、他に症状がないのであれば病気の可能性は少ないのですが、厳密には他の症状というべきもの（「意識が低下している」、「顔色が悪い」など）が「元気がない」と表現されることがありますので、特に症状を訴えられない乳幼児では重い病気も考えておかねばなりません。また、急にはでなく、「近頃」元気がないのなら、日中かかりつけの先生に一度相談してみましよう。

医療機関救急受診のポイント

（救急外来を受診しましょう）

- ▶ 母乳やミルクを飲まない
- ▶ ぐったりしてきた
- ▶ 顔色が悪くなった
- ▶ 視線が定まらない
- ▶ 足の付け根（そけい部）にふくらみがあり、戻らない
- ▶ お腹のふくらみ・張りが強い
- ▶ 嘔吐する
- ▶ 血便がでた



家庭での対処方法のポイント（Q & A）

Q 1 泣きやまない時はまずどうするの？

抱っこしたり、車に乗せて外出したりすると、機嫌が直って寝てしまうこともよくあります。ミルクや母乳を与えると落ち着いたり、好きなものを与えると改善するようならまず大丈夫ですから、試してみましょう。2～3日前からウンチがでていないときやおしりが赤いなど、便秘やおむつかぶれによると思われる場合があります。浣腸してみたり、清拭（おしりをきれいにふく）・外用薬の塗布を試みてもいいでしょう。

Q 2 元気がない時はまずどうするの？

泣きやまない時と同様のことは試してもいいと思います。食欲や睡眠が通常通りにとれているのなら、まず重症の病気はないでしょう。一方、意識の低下（視線が合わない、すぐにうとうとと眠っていくなど）や顔色が悪いことが明らかなら、早めに医療機関を受診しなければなりません。

Q 3 その他どんなことに注意すればいいの？

泣きやまない、元気がない時に、他の症状が組み合わさっている時は注意が必要です。たとえば「元気がない弱々しい泣き方で、泣きやまない」のならば、重い病気が隠れている可能性もあります。「発熱があって元気がない」場合も、普段より多少元気がない程度はやむを得ないでしょうが、ぐったりしているようなら重い病気も考えられます。いろんな病気も、進行してくれば元気がなくなって当然です。両者とも、それ単独で病気を表すと言うより、別に伴っている症状の重症度を反映する症状といえます。つまり、これらの症状を伴う可能性のある病気は多岐にわたります。仮に医療機関を受診して心配なさそうだ、ということで帰宅しても、その後新たな症状が加わってみられたなら、もう一度相談してもよいでしょう。

この症状によくみられる代表的な病気は？

- ▶ 腸重積症（ちょうじゅうせきしょう）
- ▶ ソケイヘルニア嵌頓（かんとん）
- ▶ 中耳炎
- ▶ 尿路感染症
- ▶ 脳疾患
- ▶ 自家中毒（じかちゅうどく）
- ▶ 脱水

